学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	デザイン史	単位数	1 単位	年次	2 年次
使用教科書	デザイン史（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

デザイン史の授業では、造形とデザインの鑑賞により創造的かつ効果的なデザインに必要な資質・能力を育成することを主眼として内容を構成しています。工業技術の進展により多様化する工業製品の製造に対応するため、過去の造形・デザイン事例の鑑賞や体験を通して得られる知見やアイデアをもって身近なデザインへ生かすために歴史的な背景を踏まえて理解するとともに、デザインにおける様々な状況に対応できる技術を身に付けるように学習します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
デザイン史を人間がものをつくりだしてきた創造の営みを振り返る視点で捉え、知識・技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
デザイン史を人間生活、自然、社会及び工業生産を相互に関連付けて考察し、理解を深めることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
造形とデザインの鑑賞により創造的かつ効果的なデザイン力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形とデザインの歴史に関する諸問題について関心を持ち、その改善・向上をめざして、適切に活用する知識・技術を身に付けている。	造形とデザインの歴史に関する諸問題から、理解を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、表現する創造的な能力を身に付けている。	造形とデザインの歴史に関する諸問題から、自ら学び、主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	デザイン史①	日本のデザイン ・古代の生活と造形	a：古代の造形文化の流れに関心を持ち、造形を合理的に計画する技術を身に付けている。 b：日本のデザインに関する課題を見いだすとともに構想を立て、問題解決に向けて適切に判断する能力が身に付いている。 c：歴史的な日本のデザインに関する知識を身に付け、課題解決に意欲的に取り組んでいる。	観察 プリント レポート 定期考査	観察 プリント レポート 定期考査	観察 プリント レポート
2	デザイン史②	日本のデザイン ・中世の生活と造形 ・近世の生活と造形	a：各時代の造形文化の流れに関心を持ち、造形を合理的に計画する技術を身に付けている。 b：日本のデザインに関する課題を見いだすとともに構想を立て、問題解決に向けて適切に判断する能力が身に付いている。 c：歴史的な日本のデザインに関する知識を身に付け、課題解決に意欲的に取り組んでいる。	観察 プリント レポート 定期考査	観察 プリント レポート 定期考査	観察 プリント レポート
3	デザイン史③	日本のデザイン ・近代の生活と造形 ・近代の生活とデザイン	a：各時代の造形文化の流れに関心を持ち、造形を合理的に計画する技術を身に付けている。 b：日本のデザインに関する課題を見いだすとともに構想を立て、問題解決に向けて適切に判断する能力が身に付いている。 c：歴史的な日本のデザインの例や造形運動に関する知識を身に付け、課題解決に意欲的に取り組んでいる。	観察 プリント レポート 定期考査	観察 プリント レポート 定期考査	観察 プリント レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度